

まちづくり町民説明会の概要をお知らせします

町制施行 100周年 記念事業

令和7年1月1日に、町制施行100周年

令和6年10月5日(土) 記念式典(金山中学校体育館)

今年度を準備・プレイベント期間、令和6年度を記念事業期間、令和7年度をポスト記念事業期間として3年間、事業やイベントを充実させ、町民の皆さんに楽しんでいただきたいと思いますと考えております。記念式典を来年10月5日に中学校体育館を会場に開催をする予定です。その他にも、町民の皆さんへ配布予定の記念誌制作、式典やイベントで流す記念映像、「ロゴマーク」を使用した記念グッズ製作を予定しております。また町所有の絵画展や芸術祭。さらに、グルメ、スポーツ、音楽など、既存のイベントの充実も含めた記念イベントを実施していきます。

「タブレット配付事業」は100年の時を経た新しい時代のツール(道具)をお配りするという記念の意味も込めています。令和7年度は高規格道路開通の年でもありますので、その集客も狙った魅力的な事業を開催していきます。また、多くの町民の皆さんから記念事業案やロゴマークなどについてご応募いただき感謝申し上げます。皆さんのご意見も参考に現在事業案を作成中ですので、ぜひ楽しみにお待ちいただければと思います。こちらの検討内容は、広報で随時お知らせしていくほか、町ホームページに実行委員会資料や議事録も掲載しておりますのでぜひご覧ください。

DX 推進事業



- ▶ **役場のDX**
事務の効率化、対面サービスの充実、ペーパーレス化、役場の窓口改革
- ▶ **生活のDX**
産業の活性化や所得向上・福祉や高齢者支援・教育環境充実、キャッシュレス決済

今年度から3年を推進強化期間としています。いまやスマートフォンやインターネットなどのデジタル技術は電気や水道を使うように、私たちの生活にとって不可欠なものとなりました。町が目指すDXは、難しいことを無理に受け入れさせることなく、便利になったと感じてもらえるサービスです。地域内での助け合いも時には必要になるかもしれません。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

参加者からの質問・意見

- ▼ 杉にとられず、水に強い温泉施設を作ってほしい。
- ▼ 冬期間の温泉の部分改修や補修などで長い期間使えるように望む。
- ▼ ナイター営業も時短で行うようだが、照明の安全面について大丈夫なのか。
- ▼ ホテルの経営状況と目標達成状況を伺う。振興公社としてどう努力をしているのか。PRの部分も含めて伺う。
- ▼ ホットハウスカムロ継続の英断は大変うれしい。一方で神室ダム周辺については放置状態。この要因や今後について教えてほしい。
- ▼ ホットハウスカムロの新施設・継続は嬉しいことだが、昔に比べて利用者が減っている。温泉のお湯の温度がぬるい。サウナをよく利用するが、水風呂は水道水。水温調整をしっかりとってほしい。
- ▼ ボイラーの経費がどのくらいかかっているのか。違うボイラーを導入する場合、どのくらいかかるのか把握しているのか。
- ▼ 人口が、30年後に1800人となった時に、町の構造はどうなっていくか。自治体としてどこまで維持していくのか。
- ▼ セロカーボン達成に向けて森林資源の適正管理が重要だと感じているが、管理する担い手が不足している。民間の森林を町が管理する仕組みも検討してほしい。



10月30日と31日に、まちづくり町民説明会を金山町農村環境改善センターで開催しました。2日間で約120名の方からご参加いただき、意見交換をおこないました。今回の説明会の概要をお知らせします。

山形県金山町公式チャンネル

検索



【問合せ】役場総合政策課 政策推進係 ☎29-5602

ホテル・レストラン



経営改善をしながら継続

- ▶ ホテル関連会社と提携し、経営を改善中です。さらなるサービスの向上による集客拡大のための策を講じながら、グリーンバレー神室振興公社による営業を継続します。さらなるPR活動も行っていきます。

ホットハウスカムロ



新たな温浴施設を建設

- ▶ 新たな温浴施設の整備に取り組み、令和7年度中の完成を目指します。
- ▶ 新施設が建設されるまでの間は、毎週水曜10時から木曜14時まで、換気・乾燥のため、休館としながら営業を続けます。

神室キャンプ場



民間企業により継続

- ▶ 指定管理者(民間企業)による営業を継続します。キャンプ場利用者のさらなる利便性とサービスの向上を目指します。
- ▶ さらなる集客拡大のため、PR活動にも力を入れていきます。

神室スキー場



今季は休日等の限定営業

- ▶ 土日・祝日・年末年始休業等の休日限定して、町直営で営業します。→民間企業との協議を継続しているための措置です。
- ▶ クロスカントリースキーコースは、町が直営で整備します。

グリーンバレー神室一帯の今後のあり方

まちづくり町民説明会の概要をお知らせします

4. その他まちづくりについて
①町の財政状況(現状)

R4決算内容	
収支	3億円の実質黒字
基金	3億円の積み増し
町債	3億円の残高圧縮

「財政健全化」を着実に前進

4. その他まちづくりについて

②旧中央公民館跡地利用について

- 旧中央公民館解体工事がまもなく完了
- 当面は、**駐車場のみでの活用 R5~**
- 町民グラウンドの整備 R6
- 仮称中央公園整備、**建屋の建築 R7以降**に



4. その他まちづくりについて

③健康づくり推進
健康づくりプロジェクトの概要
健診結果説明会、塩分測定・
企業との連携、ウォーキング推奨
→ **介護保険料の引き下げ、健康長寿**



④農業支援
機械購入費補助、新規就農支援、補助金等、
燃料高騰支援 → **農業所得の向上**

4. その他まちづくりについて

⑤ゼロカーボンに向けて
金山町ゼロカーボンシティ宣言
2022.11.3

森林資源の適正管理
二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す
啓発活動、PR活動及びイベントの実施
公民連携による協議会の設立



4. その他まちづくりについて
①町の財政状況(なぜ好転したか)

- ① **事業見直し**
- ② **公共施設の集約化・廃止**
- ③ **大規模事業の計画見直し**
- ④ **コロナ禍での交付金の有効活用**

縮については、近年における早期健全化のための計画的な財政運営の結果であると捉えています。

令和4年度は継続したコロナ対策に加え、喫緊の課題である物価高騰対策等を講じながら、「財政健全化」を着実に前進させることができました。

今後は、人口減少に比例して、町の収入が減少する上、特に若年層人口の減少は、担い手不足による産業や地域そのものの衰退に直結します。

令和2年の町長就任時のマニユフェストにおいて、「町財政の早期の健全化」を掲げ、約3年半の間、優先して進めてきた事項でもあります。

具体的には、徹底的な事業見直しや大規模事業の計画修正等に踏み切り、経常経費の削減や後年度の財政負担の軽減などを図り、町の歳入規模に合った支出に近づけることができました。この中には痛みを伴う改革もありましたが、町民の皆様のご理解とご協力によりまして、着実に財政健全化を進めることができたことと確信しております。

町の財政状況の現状、令和4年度の決算についてご紹介いたします。

令和4年度は、一般会計において3億304万円の**実質収支黒字**を確保しました。また、町の貯金である基金に3億円以上積み増ししながらも、町の借金である町債は3億円以上残高が減少しました。基金への積み増しや町債の圧

財政健全化が着実に前進

住んでよし訪ねてよし

このように深刻化する課題を解決するとともに、魅力や活気のあるふるる町づくりのため、今後の町の財政運営の方針としては、町の将来を見据え、積極的に投資をしていく局面であると考えております。

また、多くの町民の皆さんが末永く元気で健康な暮らしを送れるよう健康づくり事業にも、引き続き力を入れて取り組んでいきます。このほかにも、町民の皆さんのお話を伺いながら、必要な事業に投資をしていきたいと考えております。

近年の事業見直しを通して、歳入規模に合わない事業の実施が、財政状況を悪化させる大きな要因であることは、職員にも浸透しつつあると実感しています。

今後とも、「町の人口や収入に對して、過剰な支出ではないか」、「本主に町民のために効果のある事業なのか」などの観点を常に持ち、安定的かつ積極的な財政運営を実現していきます。

これからの金山のまちのすがたについて、皆さんはどのようなイメージを抱いておられますでしょうか。2052年の人口は、約1,800人と試算されました。

今後、さらに人口や税収が減っていく中で、身の丈にあったまちづくりが当然必要となります。ここ最近で、財政に明るい兆しが見えましたが、小さい町であり、税収は少ないので、引き続き財政健全化策は継続いたします。

そのような中でも、金山でしかできない住民サービスの提供を行っていきます。そのためには、金山にしかない魅力のさらなる発掘や磨きをかけて、それらを積極的に発信していくことが極めて重要だと考えています。

また、10年先、100年先の金山町を意識してまちづくりを町民の皆さんと一緒にしていきたいと考えております。

住んでよし訪ねて良しの町へ！金山町は新たな時代へ突入します。明るい未来と希望あるまちづくりを皆さんとともに、これからも進めてまいります。

これからの町のすがた

2052年の人口は、1,800人の時代に！

人口規模、税収等、身の丈にあったまちづくり
財政健全化策の継続
金山でしかできない**住民サービスの提供**
金山にしかない**魅力の発掘と発信**
10年先、100年先を意識したまちづくり

住んでよし、訪ねて良しの町へ

新たな時代へ明るい未来
希望あるまちに

金山町の人口・・・令和4年11月に4,997人となり、初めて5,000人を切りました。今年10月末で4,866人となっています。今後の推計では、令和14年に3,818人、令和24年度に2,741人、令和34年度に1,800人と予測されています。国の推計よりも速い速度で人口減少が進んでいます。今後いかに人口減少カーブを緩やかにしていくかが、町づくりの大きなカギとなります。